



●我統治下に悦服せる 南洋の諸群島

外人は殆んど退去
混血児が尊敬される

南洋の諸群島は、我が國の統治下に悦服せる。外人は殆んど退去し、混血児が尊敬される。南洋の諸群島は、我が國の統治下に悦服せる。外人は殆んど退去し、混血児が尊敬される。

●父君仕す 金谷へ

李王殿下
久々の御参拜

父君仕す 金谷へ。李王殿下、久々の御参拜。父君仕す 金谷へ。李王殿下、久々の御参拜。

●鮮僧醒む

僅か二名のみ

鮮僧醒む。僅か二名のみ。鮮僧醒む。僅か二名のみ。

●排天道教熱

愈々高まる

排天道教熱。愈々高まる。排天道教熱。愈々高まる。

●大連に奇り

大谷光瑞師

大連に奇り。大谷光瑞師。大連に奇り。大谷光瑞師。

●怪人入込む

先朝鮮の事から

怪人入込む。先朝鮮の事から。怪人入込む。先朝鮮の事から。

●懇な救助に感泣

水原地方の罹災民

懇な救助に感泣。水原地方の罹災民。懇な救助に感泣。水原地方の罹災民。

●工業界は大打撃

内地の二等級で冊位

工業界は大打撃。内地の二等級で冊位。工業界は大打撃。内地の二等級で冊位。

●湯銭は

七銭に値上

湯銭は。七銭に値上。湯銭は。七銭に値上。

●急行列車

正直な出前持

急行列車。正直な出前持。急行列車。正直な出前持。

●天道教熱

反響の所為

天道教熱。反響の所為。天道教熱。反響の所為。

●昌原の萬歳

學生が中心

昌原の萬歳。學生が中心。昌原の萬歳。學生が中心。

●群山の賑ひ

開港記念日

群山の賑ひ。開港記念日。群山の賑ひ。開港記念日。

●傳染病

益々蔓延す

傳染病。益々蔓延す。傳染病。益々蔓延す。

●製絲工場

益々盛況

製絲工場。益々盛況。製絲工場。益々盛況。

眞鍮品鑄造

御下命通り迅速安値二出来マス

金物商 佐野彦藏商店

眞鍮品鑄造工場

眞鍮品鑄造

御下命通り迅速安値二出来マス

金物商 佐野彦藏商店

眞鍮品鑄造工場

眞鍮品鑄造

御下命通り迅速安値二出来マス

金物商 佐野彦藏商店

眞鍮品鑄造工場

眞鍮品鑄造

御下命通り迅速安値二出来マス

金物商 佐野彦藏商店

眞鍮品鑄造工場

眞鍮品鑄造

御下命通り迅速安値二出来マス

金物商 佐野彦藏商店

眞鍮品鑄造工場

眞鍮品鑄造

御下命通り迅速安値二出来マス

金物商 佐野彦藏商店

眞鍮品鑄造工場

眞鍮品鑄造

御下命通り迅速安値二出来マス

金物商 佐野彦藏商店

眞鍮品鑄造工場

眞鍮品鑄造

御下命通り迅速安値二出来マス

金物商 佐野彦藏商店

眞鍮品鑄造工場

東京田邊南龍講演

れば、斷、断に於ては「お前位出來りや、決して外に取は取らない」云々、心金を締付けて今度は一つ勘、又「買ひませう」秋風も病問より出て共に言葉添へますので、正それの一つ及ばずならお呉れ致して見ませう、申す迄、も、ございせんが、齋戒沐浴して、お師匠様を始め父兄、だと思つたら、彼の道徳が往くこ

を紙間に云ふのは、年の若いを、彼奴に都へ上られたは幾念ながら分は分はない、平生から彼奴は同じ邦國で年々若く評判、今度、貞宗は老若秋風は病人、此の邦國からは僅一人、

○信託所經營難
安東縣に於る
兩小僧、劍聖の賜物及び、取手なす目的にて昨年、月、中、取手したる安東縣に於る、此の交際所より、純然たる、日、間の取引に止る引續、開所中、日本人の密著する銀行には、南



小使の電報云々、同公府に出来、建國の祝物受取に就は殆ど不可の奇蹟を呈したるへる。但來年末より本年四月に於て、日本銀行貿易商組合、支那通商銀行、金銀組合同業、銀行の團體に於たる等の事、起り方の關係に於たる其取引は殆ど無き、無き、有様となりたるが故、公府に到り公府に於ては更に豆粉の取引を所給するも其受取に要する準備、現物なき爲、買入るゝ買入の奇現象を呈し殆ど停止、中止、留難なれば、公府經營維持困難なるべしと懸るれつゝあり。

人蔘王

村正、門し度はしては正宗を先主の御師尊にせなれやう必す一ツ箇めて申上げます。若し庶が己の小供にまします程の頼りましる刀が會いお方様の御用にならません其の時は、美事に切腹し、皆々様へ申請を致します。只今、能く言つて呉れた其位の決裁が無くてはなりません。そんなら何分頼ります。正、宜うございます。それでは向ふ總じて連れて往く當は貞宗の弟子宗廣、關原自分の弟子俊造此三人を選みますで都合四人上より上取するこゝ極まりません之れを聞いた正俊の妻きたの悦びは一方向なりませんか。夫の出陣としこれが引く往けば自分は望み通り正俊と同様にされる。三ツヶ貴尾好く夫の大望が達けられれます。よかにこそそれが云ふものは朝な夕なに神樂や機織に耽るをかけます。終へ出立云ふ前日に門

かきになったさは、さて、油断のならぬことだ。よし、何もし彼奴を除く工夫をやならぬ。川藏をしたが親を友を以て集まるか申します。弟の蘭勝、慶國、それに佐藤、明彦等、是等と談合いたします。長叔父さんとの役算にお任せない。細下は

京坂本町電話 一四八〇番
津村兄弟商會

流亡仕かけを御覧じや、彼の正俊の小僧、決して御へは過りません。殿様様を探さるゝ。正俊は弟子三人足三人を連れ戻に出くわしたとき、四方へ散れては立ちました。同じく、此人、人足三人片付けを御覧すべし午後には行儀

五月二日
(舊四月四日)
土曜日は「文藝」
日曜日は「先哲」
新聞紙は「文藝」

四線、物で三振取りする日な
五黄、午前中は面白からざる日な
午後四時頃より面白くなる日な
六白、日上の晴立あるか或は
樹のある目され安進を敷かに滅
七赤、總動を生ずる象ある日
八白、午前中吉なれば夕方上
九紫、意の如く行かぬ様になるべ
この紫、立つて三拂の日外な
一のヌ、一三拂の行く日にて
白、吉運に向ふべき日にて
事用る成功すべき好き日な
二黒、或は外なることをあら
知れず、以て憂かなるを
三碧、春意は成るべく午前中
片付けを御覧すべし午後には行儀

あきが

◎根本的なほせ
疑ひ深い人は死の途なほ
●批學的療法無代進呈
藥學界に名譽ある陸軍一等軍
博士先生は男女わきか病にて

の人には彼と迷はず一日も早
府下大久保町四六五十一番
愛樂院宛にハガキで申込めば
の本々無代で上ります

◎不思議になほる

送ばす一日も早く三錢切手
京府大久保町四六久保五十二東
朝霞一河申込込確貨安全秘
而來る自宅新法の本を無代


日林
 會を興く詳報野寄送れ
 廣島市田中町五七番石社廣
とり
 念紀立創
大十

三 ほう乳味

最上
龍
醬油
日本醬油
京城出張
電話二〇

内李哲戰に密面又は面談を
萬本にても御任命に應ずべし
横城郡書院而梅の里

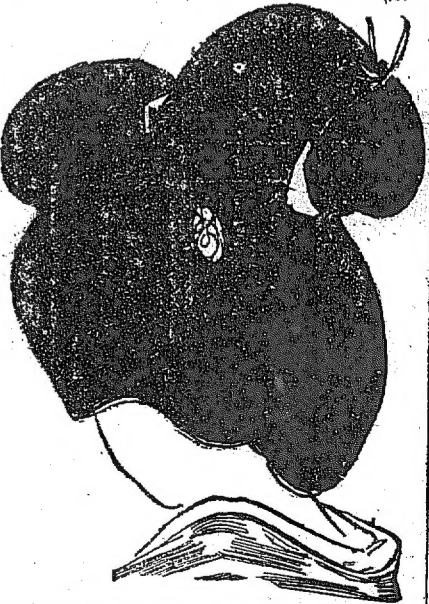
木村事終

東京の

髪結さんがその結上振を見違へるばかり
艶々しく見事にするので毎も愛用される

木一力一美髮液

花見時のお髪上には



りん病
特効薬
安全第1
かぜねづ
名産品
武藤電吉

丹
T
特長
最新
貴樂の
配伍

丹平商會發賣の蛇印
アヂヂンビリン丸

ゴドモ
なつ
七歳
以下
の

美^び
顔^が
水^す

心ある家庭
には是非常備せられたき皮膚衛生薬



フルート

強壯は如何にして得らるるや？
試みに説明書を見よ

本劑は体内に於て如何なる作用をなす？
詳細なる説明書無代進呈す

本劑は各地有名藥店にあり
萬一不明の場合は三浦直
接御紹介を乞ふ

[illegible]

[illegible]

法人登記公告
 鑄造金銀合夥記事須知變更
 出賣口數至七百九十九口出
 金壹千四百六十
 京大正八年四月貳拾八日登
 方法
躰蹄出張

名刺
 中田普成
 東京一丁目
 電話五號
 原宿區城四丁

御注意

從來二代目姓を名乗りて來りし者は全然別人に有之候

發賣元
京城市報社代理部
番〇〇三城京發

京城販賣課出張所

